

授業科目名	言語学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	松本 亮、仲山 晃生	単位数	2単位	時間数	60時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要・学習目標〕</p> <p>この授業は、普段意識せずに使っている「ことば」について考え、言語学の基礎的な概念、言語学の主な分野について理解することを目的とする。また、言語聴覚士国家試験は日本語学の分野からも出題されていることから、日本語の文法についても基礎的な知識を身につける。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	言語とは何か				〔仲山〕
第 2 回	言語学のなかみ				〔仲山〕
第 3 回	人間言語の特徴				〔松本〕
第 4 回	音声学（復習）				〔松本〕
第 5 回	日本語音韻論（復習）				〔松本〕
第 6 回	日本語の品詞整理				〔松本〕
第 7 回	形態論①：形態素とは				〔松本〕
第 8 回	形態論②：語形成				〔松本〕
第 9 回	形態論③：日本語の動詞（1）				〔松本〕
第 10 回	形態論④：形態素分析練習				〔松本〕
第 11 回	統語論①：直接構成素				〔松本〕
第 12 回	統語論②：句構造基礎・生成文法				〔松本〕
第 13 回	統語論③：文の構造				〔松本〕
第 14 回	統語論④：文の種類				〔松本〕
第 15 回	前半のまとめ				〔松本〕
第 16 回	意味論①：語と語の意味関係				〔松本〕
第 17 回	意味論②：多義語と比喻				〔松本〕
第 18 回	語用論①：発話行為				〔松本〕
第 19 回	語用論②：ポライトネスと待遇表現				〔松本〕
第 20 回	意味論③：日本語の動詞（2）				〔松本〕
第 21 回	意味論④：日本語の動詞（3）				〔松本〕
第 22 回	社会言語学①：地域方言と社会方言				〔松本〕

授業科目名	言語学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	松本 亮、仲山 晃生	単位数	2単位	時間数	60時間
第 23 回	社会言語学②：言語接触と言語変化				[松本]
第 24 回	言語と文字				[松本]
第 25 回	言語類型論①：形態的分類				[松本]
第 26 回	言語類型論②：語順からの分類				[松本]
第 27 回	日本語の文法①：「は」と「が」				[松本]
第 28 回	日本語の文法②：他の言語と比べて				[松本]
第 29 回	日本語の歴史と言語変化				[松本]
第 30 回	全体のまとめ				[松本]
評価方法	課題・小テスト30%、期末試験70%				
教科書 参考図書	〔教科書〕 「言語学入門」 研究社、佐久間淳一 他（2004）				
	〔参考図書〕 「入門言語学」 スリーエーネットワーク、原沢伊都夫（2016） 「言語学入門」 三省堂、斎藤 純男（2010） 「音声学・言語学」 医学書院、今泉敏編（2009）				
履修上の 留意点	復習を必ず行うこと。確認のために随時小テストを行う。				
メッセージ	内容が盛りだくさんで大変かもしれませんが、毎日使っている「ことば」を題材としているので、興味を持って取り組んでください。 基本的には講義形式をとりますが、一方向的な講義ではなく、双方向的な授業を行いたいと思っています。授業に積極的に参加する心構えで受講してください。				